

吉田地域での

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況 【平成18年1月末現在】

(開催概要)

日時：平成17年2月19日(土) 14:00~16:30

場所：吉田福祉センター

検討結果等、
処理状況の分類

1. 既に施策等に盛り込み済み、処理済みのもの
2. 施策への反映を検討中、処理中のもの
3. 要望等に沿い難いもの
4. 市の所管に属さないもの
5. その他

平成18年3月

鹿児島市市民参画推進課

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

日時：平成17年2月19日（土）14:00～15:40

場所：吉田福祉センター

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
1	デイサービス利用者視察時 14:00～14:20	デイサービス利用者女性	① デイサービスが週1回から月2回になった。高齢者が増えてきており、介護保険料も8%の値上げと聞いている。自分は、介護保険を使わないでいように、健康には力を入れている。 また、核家族化が進み、1人暮らしの高齢者が増えている。デイサービスを利用することで、気持ちの切替ができ、そのことが健康につながる。2週に1回はあまりに少ない、負担金は増えてもせめて週1回にしてほしい。 旧市はどうなっているのか。	病気になるための予防は大切なことである。 デイサービスについては、合併に伴い、前市と同じ制度ということで、統一したはずである。 敬老パスについては、市議会に相談しているが、4月から10月までは、旧5町の市民にも旧鹿児島市と同様の制度を適用することになると考えている。（11月からは制度は変わるが。） やはり、元気で過ごしていただくような行政を進めていかなければならないというのは同じ気持ちである。	健康福祉局	① 生きがい対応型デイサービスは、合併調整で2週間に1回の利用ということで調整方針が決定されている。 本市ではデイサービス以外に介護予防事業として、お達者クラブやふれあい会食等を実施しており、これを旧5町域にも適用することによりデイサービス回数減についてはカバーできると考えている。	平成17年4月から鹿児島市の制度に基づき、2週間に1回の利用でお願いしている。 本市ではデイサービス以外に介護予防事業として、お達者クラブやふれあい会食等を実施しており、これを旧5町域にも適用している。	3
			② 敬老パスについて 自分達が天文館まで行くと、700円かかるが、旧市民は無料である。介護保険料はどんどん上がる。 合併して同じ市民であるのに、差別である。早く敬老パスの対象にしてほしい。	健康福祉局	② 見直し後の敬老パス制度が適用されるまで、旧5町に居住する70歳以上の対象者に市電・バスを利用できる共通乗車カードを交付するため、必要経費を17年度の当初予算に計上している。	平成18年3月1日から、新しい敬老パス制度を全市域に適用することとしている。	1	
2	デイサービス利用者視察時 14:00～14:20	デイサービス利用者女性	合併して変わったのは、電気代が安くなったのと、雪が積もったとき、牟礼岡まできちんとロードスーパーがきたこと。 しかし、旧町時代に県社協が実施していた「いきいきサロン」、これは高齢者の公民館でボランティアを中心としたものであるが、これが「お達者クラブ」になり、不便になった。 地域から2名は講習を受けるようにとか、月に2回実施することとか、行政の圧迫を感じる。これまでのいいものは残してもらいたい。 話し合いで、地域住民のためになる（方向に進めていく）そういう行政であってほしい。	制度の違う自治体が合併し、同じような目的であっても中身が違うということもある。そのひずみを少しずつでもなくするように努力しなければならないと思っている。地域住民が利便さを感じるようであればならないといけないわけなので、そこで地域特性のものでできるかどうかというのは、今合併したばかりであり、実施主体が違うので調整できるか今後研究していく。	健康福祉局	お達者クラブは、心身の機能が低下している方々や、外出の機会が少なく閉じこもりがちになった高齢者が、介護を必要とする状態になることを予防し、自立した生活が送れるように、お互いに助け合う地域づくりを推進することを目的として実施するものである。 このお達者クラブは、地域の方々と地域の実状や利便性を話し合いながら、設置を決定している。 いきいきサロンも同様の目的で実施されていると伺っているので、地域の方々にどちらを利用するか選択していただくことができる。 また、お達者クラブは健康づくり推進員が中心になって主体的な運営が行われているが、この健康づくり推進員は、ひとつのお達者クラブについて1～2名の方が地域から推薦を受けられて、養成講座を終了した後、健康づくり推進員協議会に入って活動していただいているところである。	吉田支所管内においても、健康づくり推進員が4名養成され、地域の皆様と「お達者クラブ」の設置について協議を重ねてきた結果、地域の要望で平成17年10月に「お達者クラブ」3か所がたちあがり、活動を開始し好評を得ている。今後も「お達者クラブ」の設置については地域の方々と協議を行っていく。 また、「いきいきサロン」も実施されていると伺っているので、住民の方々に選択して利用していただきたい。	5

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
3	懇談の部 14:30～ 15:40	牟礼岡 女性	停留所はあるのだが、南国バスが牟礼岡まで回ってこないため、花棚バス停まであるいて行かなければならない。1日2、3回でもよいので、運行するようにしてもらえないか。 運転手に聞けば採算がとれないという。	関係部局と、南国バスに要望があるということを伝える。関係部局から連絡させる。	企画部	路線バスの運行については、基本的には、交通事業者において検討してもらうことになるので、要望のあった地域の周辺を運行する南国交通に検討方を相談した。 交通事業者としては、宮之浦町付近を運行するバス路線として、宮之浦団地（牟礼ヶ岡団地）から菫蒲谷方面への路線と鹿児島吉田線を運行する路線があり、その間の地域まで運行するとすると、採算性からみて厳しい面があるので、どちらか近い方の路線を利用してもらうようにとのことであった。 本市としては、南国交通に対して、菫蒲谷方面の路線と鹿児島吉田線の路線は、いずれも運行本数が多いことから、そのうち数本でも宮之浦町牟礼谷の付近を運行することについて、引き続き検討するようお願いしたところである。	民間バス事業者に検討方を要請しているところである。	4
4	懇談の部 14:30～ 15:40	本城地区 男性	① 吉田福祉センターでデイサービスを受けているが、温泉が出ず、水道を利用している。 水は12t/日、年間3,000t、燃料は灯油を50～55ℓ/日を使用している。 調査して、可能性があれば温泉を掘ってほしい。	温泉が出るということが、この施設のよさなので、調査してみなくてはならない。	健康福祉局	温泉は、平成16年7月6日まで生きがいサービスセンター事業（1日平均利用者約20名）のため利用していたが、湯揚不能な状態となり、現在はボイラーによりお湯を沸かしている状況である。 新たな温泉の掘削は、多額の費用を伴うことから、現在の温泉設備の利用が可能であるか経費的なことも含めて検討してみたい。	1日の平均利用者は約20名であり、温泉施設の改修工事及び新たな温泉の掘削には多額の費用を伴うことから、費用対効果を考慮した場合、現時点では、これまでどおりボイラーによる給湯で対応したいと考えている。 また、燃料の節約や時間短縮のため、現在のボイラー配管を変更したいと考えている。	3
			② 老人福祉バスの件（敬老バス） 旧市の市民は現行（無料）と聞いているが、旧5町住民に対しては何の恩恵もない。できるだけ早く、一部負担でもよいから制度を適用してほしい。	敬老バス制度については、合併時には、旧5町との制度が違うため、調整方針として市の制度に統合するというところで合併協議会で決められた。 この件については、議会に審査してもらおうが、それまでは旧5町には適用できず、同じ市民として同じ制度を享受できないのは不公平だと思っているので、私のほうで政策を立ち上げて、早く同じ制度が適用できるよう努力する。	健康福祉局	見直し後の敬老バス制度が適用されるまで、旧5町に居住する70歳以上の対象者に市電・バスを利用できる共通乗車カードを交付するため、必要経費を17年度の当初予算に計上している。	平成18年3月1日から、新しい敬老バス制度を全市域に適用することとしている。	1

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
5	懇談の部 14:30～ 15:40	通所リハ 事業所勤 務 女性	<p>(通所リハ利用者について)</p> <p>この利用者は認知症で、介護度2、これまで通所リハ、デイサービス週3～4回、訪問ヘルパー、配食サービスを受けていた。</p> <p>合併して4月から配食サービスが受けられなくなるということで非常に不安に思っている。</p> <p>この利用者は全く金銭を使わず、独居生活で、外出してもすぐ転ぶような状況のため、配食サービスがなくなればその日から困る。</p> <p>デイサービスを週1回にすれば、配食サービスは存続できると聞いたが、これでは、寝たきり・不規則な生活になり、状況が悪化するのを見せている。</p> <p>今まで配食サービスを受けている人には、何とかサービスが続けられるようにしてほしい。</p>	<p>合併後、市の制度を適用したら、配食サービスが4月からは受けられなくなるのか。</p> <p>(そのとおり)</p> <p>担当部局に実態を調べさせる。</p>	健康福祉局	<p>心をつなぐ訪問給食事業は、合併調整方針に基づき17年4月から旧鹿児島市の制度に統合されることとなっている。</p> <p>統合後の制度では、昼食の配食を週6回受けられる人は、原則として要介護1以上の人が対象となる。また、夕食の配食を受けられる人は、昼食の配食を6回受けている人となるが、このうち通所リハビリテーションなどで昼食の提供を受けている人は、昼食の提供を受けているのが週1回までであれば、夕食の配食を受けることができる。ただし、特別な事情がある場合は、個別調査を行い、判定することになるので各支所保健福祉課にご相談してほしい。</p> <p>この制度は、高齢者の健康で自立した生活の支援及び安否確認のために実施しているものである。このような観点から真に配食が必要と認められる人については、引続き配食サービスを受けられるものと考えている。</p>	<p>心をつなぐ訪問給食事業は、平成17年4月から鹿児島市の制度に統合して実施している。</p> <p>この制度は、高齢者の健康で自立した生活の支援及び安否確認のために実施しているものである。このような観点から真に配食が必要と認められる人については、引続き配食サービスを受けられるものと考えている。</p> <p>※相談者については、対応済</p>	1
6	懇談の部 14:30～ 15:40	西佐多町 男性	<p>牟礼岡が入り、過疎振興法がはずれた。西佐多は過疎地域である。地区を回り、過疎振興をもう少し考えてもらいたい。</p> <p>隣の蒲生地区はいろいろと整備がされている。この地区は遅れている。</p>	<p>合併で逆に不利益を被るということもあると思うが、大きな鹿児島市、自治体になったので、そういう中では、鹿児島市の中で、過疎的な地域、都市基盤、施設なり人口集積ができていないところに、配慮した政策を立ち上げなければならないと思っている。</p> <p>担当部局に現場等を調査させて、どういったことをすべきかということを検討したいと思っている。</p>	建設局	<p>過疎化の懸念される地域について、市営住宅建設の可能性を検討することとしており、17年度に現況調査を行う。</p>	<p>過疎化の懸念される地域について、市営住宅建設の可能性を検討することとしており、現在現況調査を行っている。</p>	2

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
7	懇談の部 14:30～ 15:40	東下部落 男性	<p>始良町が進めている県道で西佐多浦・東佐多浦・始良ICから蒲生線までの都市計画道路16m幅の整備を(吉田まで)実現できないか、県に要望してほしい。</p> <p>始良町はあと少しで完成するようだが、吉田に入ると急カーブになっていたり、道幅が狭かったり、歩道がない場所も結構ある。交通弱者に安全に通行してもらうために、道路を改善してほしい。</p> <p>東佐多、西佐多にはスーパーもなく、高齢者など始良町のスーパーに行く人もおり、身寄りのない人などは、歩いたり、自転車で行ったりする人もいる。大型車両との離合の際は、車両がガードレールすれすれに通行している。交通弱者の通行に危険が伴う。</p>	<p>建設局に話をするが、県知事にも整備が遅れた地域の一つであると強く要望する。</p> <p>支所長なり、担当部局の者を調査に行かせる。その実態を私に報告させ、それに基づいて県知事にも直接、話をしたいと思う。なにぶん、県も大変な財政状況の中で、すんなりとはいかないと思うが、県には責任もあると思うので、実情をよく把握して訴えていきたい。</p>	建設局	<p>要望路線は、県道麓重富停車場線であり、延長約6,070mのうち、本市域内分の延長は約1,710mである。</p> <p>始良町域内は、平成12年度から県単道路整備事業として整備を行い、本年度末で約4,160mが完了予定である。</p> <p>本市域内の整備については、規格改良済区間として、新たな計画は策定されていないが、市道奥之宇都線との交差点改良(延長約250m)を平成17年度から19年度にかけて予定しているとのことである。</p> <p>本市としては、今後も、より安全で円滑な交通の確保が図られるよう整備推進の要望を行っていく。</p>	市道奥之宇都線との交差点改良については、平成17年10月20日に県市合同により、地元説明会が開催され地権者及び関係者含む計19名の出席があった。現在県土木事務所において県道部分について用地交渉中である。	2
8	懇談の部 14:30～ 15:40	デイサー ビス利用 女性	<p>① 先ほど(視察時に)「生き生きサロン」がお遊者クラブに替わると言ったが、校区社協を作れば「生き生きサロン」は存続できると聞いたのでお知らせする。</p> <p>② 様々な行事をする際、今まではこのセンターを1週間でも2週間でも貸してもらっていたが、市になったとたん、使ってもいいが1事業で1週間は長すぎると言われたりして、なかなか使いづらいということを知った。ゆとりを持って施設等を使わせてもらいたい。</p>	<p>合併に伴い、現在は市の制度に統合するというのでやっているの、今後は実情を聞いて、どういう形が皆さんにとって利益となるか、研究していきたい。</p> <p>施設は皆さんが大いに活用することが大切である。独占的に使うことで他から苦情が出ると困るが、皆さんが使えるような形で運用できるように、それぞれの担当部局に申し付ける。</p>	健康福祉局	<p>発言者から本日の出席者へお知らせいただいた内容等については、市社会福祉協議会へも伝えたとのことである。</p> <p>個人及び団体等の長期的、独占的な使用については、これまでどおり制限されるが、同センターは部屋数が多いことから、利用申請時の調整等により、多くの市民に利用していただけるよう対応している。</p>	<p>参考：市社協の取組状況</p> <p>従来から実施している「ふれあいサロン(生き生きサロン)」は、校区社協で引き続き実施している。</p> <p>(検討結果、今後の方針等のおり)</p>	4
9	懇談の部 14:30～ 15:40	宮之浦 男性	<p>吉田ICから牟礼谷の道路は通学路になっており、ガードレールを取り付けてほしいと今まで何度も要望してきたが、実現しなかった。</p> <p>小学生が10数人、歩道がないところを、でこぼこした側溝の蓋の上を歩いており、よく事故が起きないものだと思う。近くには大型のパチンコ店ができ、交通量が増えているほか、大型車の往来、スピードを出した若者の車が往来するなど、危険なので、子どものためにガードレールの設置を要望する。</p>	<p>要望の道路は市道であるので、すぐ調査し、対応させる。</p>	建設局	<p>要望路線は、吉田イターから牟礼岡団地に通じる、延長約3,500mの市道宮神社牟礼谷線である。</p> <p>昭和60年度から計画的に拡幅整備を行っているが、要望箇所については、権利関係者の方からの協力等が得られていない状況である。今後も、引き続き、権利関係者の理解と協力を頂く事に努めるとともに、安全で円滑な交通の確保が図られるよう整備推進を図っていく。</p> <p>なお、要望箇所については、現地調査を行い、暫定的な交通安全対策として、歩車道の区分を考えた対応を行なうこととして検討している。</p>	平成18年1月に当該箇所の工事発注し、18年3月中旬完了予定である。	1

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
10	懇談の部 14:30～ 15:40	本名地域 男性	① このセンターは、市民の憩いの場としてつくられた施設であるが、音楽活動で使用しようとしたところ断われたところもあるとのことである。センターを吉田住民に使わせてもらえるよう要望する。	施設は利用してもらうことが目的であるが、独占的な利用はできない。あまねく、広く市民に利用してもらうことが大切なので、制約を課すことがあるかもしれないが、利用されることが大切である。	健康福祉局	音楽活動での利用については、同センターには、防音設備が完備されていないことから、他の利用者及び付近の住民に迷惑が掛からないよう対応しているところである。 (センター管理者から「これまで、音楽活動のため利用を断ったことはない。」)	(検討結果、今後の方針等のおり)	1
			② センターを3回ほど利用して、不思議なのは、1日900円納入するのに600円の領収書を手渡された。 旧市民に聞くと、600円納入していると言う。合併後は同じ境遇であるべきである。差額の300円の用途を教えてください。	300円の差額については、調査して回答させる。	健康福祉局	生きがい対応型デイサービスの利用者については、合併調整方針に基づき、17年3月までは旧吉田町の制度を適用し、17年4月からは鹿児島市の制度を適用することとなっている。 したがって、3月までは旧吉田町の制度に基づき、サービスの利用者については1人1回当たり900円を負担していただき、そのうち600円は教養娯楽材料代等の実費分として社会福祉協議会が受領し、領収書を発行している。残りの300円は生きがい対応型デイサービス事業実施要綱に基づき、サービス事業利用料として社会福祉協議会から市へ納入しているところである。なお、平成17年4月からは旧市域と同額の600円となる。	平成17年4月から鹿児島市の制度を適用し、1回の利用につき600円を負担していただいている。	1
			③ 敬老パスの話もあったが、旧市民と平等の取扱いをお願いします。	敬老パスも、同じ市民なので、同じ利益を受けることが当然である。今後議会にも相談しながら、検討していきたい。	健康福祉局	見直し後の敬老パス制度が適用されるまで、旧5町に居住する70歳以上の対象者に市電・バスを利用できる共通乗車カードを交付するため、必要経費を17年度の当初予算に計上している。	平成18年3月1日から、新しい敬老パス制度を全市域に適用することとしている。	1

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
11	懇談の部 14:30～ 15:40	女性	① (吉田住民投稿の新聞記事を紹介) 合併で市民になったが、生活面で変わったのはごみの出し方くらい。私の集落は農村地域で、環境はよいが周囲はほぼ全員が高齢者。車を持たない高齢者は他人とのふれあいも少ない。以前、高齢者は、旧町実施のデイサービスを楽しみにしており、私はその手伝いをしてきた。合併後、週1回が2週に1回になり、利用者はさびしそうである。旧鹿児島市は公共交通機関が発達しているが、吉田はバス停も遠い。地域の事情を考えた福祉のあり方を、実際に足を運んで把握してほしい。	市の制度に統合するということで、現在の状況になっている。今後、どういう形でそれを是正できるか、研究していきたい。 (市内の年寄りにはバス代は無料、との発言に対し) それはたくさんの人から聞いているので、よく考えている。	健康福祉局	生きがい対応型デイサービスは、合併調整で2週間に1回の利用ということで調整方針が決定されている。 本市ではデイサービス以外に介護予防事業として、お達者クラブやふれあい会食等を実施しており、これを旧5町域にも適用することによりデイサービス回数減についてはカバーできると考えている。	平成17年4月から鹿児島市の制度に基づき、2週間に1回の利用でお願いしている。 本市ではデイサービス以外に介護予防事業として、お達者クラブやふれあい会食等を実施しており、これを旧5町域にも適用している。	1
			② デイサービスで、グラウンドゴルフをするのに、2階の広い部屋は使えず、1階の狭いところでさせられた。なぜ、広いところでさせてもらえないのか。	施設の使用は、多くの方が恩恵を享受できるようにしたい。	健康福祉局	生きがいデイサービス事業は、社会福祉協議会に委託して実施しており、実施場所は一階部分を使用させていただくようにしているので、ご理解をいただきたい。 2階は特定の人だけでなく、一般の人に供用しているところであります。	(検討結果、今後の方針等のおお)	3
			③ 墓の水道について、旧町時代は無料であったのに、合併後はメーターが取り付けられ、料金が必要となった。 大量に水を使用するわけでもない(ので、検討してほしい。)	墓の水道料については、旧鹿児島市では水道料を支払ってもらっている。 (合併後の制度等全般について) 今後、皆さんの声をよく聞いて是正していく。	環境局	共同墓地は、地域の慣習等において管理運営がなされており、水道料金については、使用者に負担をお願いしているところである。 なお、共同墓地の環境整備、災害防止や災害復旧等については補助制度がある。	(検討結果、今後の方針等のおお)	3

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
12	懇談の部 14:30 ~ 15:40	男性	<p>(提言ということで発言) ① (要望発言が多いことに関して) 地域まちづくり会議に各地区から代表が出ているので、要望はその代表者に出してもらいたい。</p>	コメントなし	市民局	(処理方針不要)		
			<p>② 本日の会議、先日の地域まちづくり会議ともに、新聞記事で初めて知った。</p>		企画部、市民局	<p>② 市長とふれあいトークについては、報道機関等に広報を依頼するとともに、対象区域の町内会等に案内文書を送付するなどして周知に努めたい。 また、かごしままちづくり会議及び地域まちづくり会議についても、報道機関等への広報依頼や本市のホームページへの掲出などを行っている。</p>	(企画部) かごしままちづくり会議及び地域まちづくり会議についても、報道機関等への広報依頼や本市のホームページへの掲出などを行っている。	1
			<p>③ 吉田にはすばらしい観光資源がある。 桐野利秋(中村半次郎)に関する史跡がある。これを観光ルートとして活用してほしい。 また、吉田は多くのすばらしい先人を輩出している地域である。市にとってはまさに“宝”の吉田である。 また、運動公園の前から貝殻などがたくさん出てくるすばらしい遺跡がある。観光資源として活用し、吉田地域の発展に生かしてほしい。</p>		経済局	<p>③ 旧5町地域には、豊かな自然はもとより、歴史や文化など特色ある観光資源が豊富にある。 合併を機に、これらの新たな観光資源を含めた観光ガイドマップを作成したほか、平成17年度は観光案内板についてもリニューアルを予定しているので、それらの活用により、本市のさらなる魅力をPRし、新たな観光の振興を図っていききたいと考えている。</p>	旧5町地域には、豊かな自然はもとより、歴史や文化など特色ある観光資源が豊富にある。 合併を機に、これらの新たな観光資源を含めた観光ガイドマップを作成したほか、平成17年度は観光案内板についてもリニューアルを行い、それらの活用により、本市のさらなる魅力をPRし、新たな観光の振興を図っていききたいと考えている。	1

吉田地域での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理状況

平成18年1月末現在

番号	区分	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等	現在までの処理状況	分類
13	懇談の部 14:30～ 15:40	東佐多町 男性	① 私の地区は全部で105世帯あり、公民館費を1世帯6,000円徴収し、年間63万円の収入がある。このほか、旧町からは年間82万円の補助があったが、合併後は年々減額され平成20年にはゼロになる。役員の報酬やすべての行事費を半額にしても、平成20年からは、1世帯あたり2,000円値上げしなくてはならなくなる。 旧市の町内会は、規模が1,200～1,500世帯と大きく、町内会費は1,000円程度で問題にならないかも知れないが、田舎では大問題である。 もう少し、市民活動費みたいな名目で、市から補助してもらえないか。	(市長まとめの中で総括的にコメント)	市民局	① 旧町時代の補助金は、町民だより等の配布手数料等であり、このような事業については、合併により急激な変化をきたすことのないよう、3年間で段階的な調整を行なうなど、配慮しているところである。 また、本市の実施した実態調査では、旧市の約6割の町内会が200世帯未満で、町内会費も全体の1/3では月の会費が500円以上1000円未満であり、ご意見にあるような町内会のみではなく、各種の補助制度を有効に活用したり、地元商店街等の協力を得るなど様々に工夫されて活動しているようである。 旧5町においても、これまでになかった補助制度が適用されることになるので、これらの制度や事業等を大いに活用して、魅力ある生き生きとした町内会活動を行なっていただきたい。	(検討結果、今後の方針等のおお)	3
			市民局		② 今後の事業補助については、各事業課での対応や状況によるが、現在、市民参画推進課で行なっている事業については、合併後の地域コミュニティの現状を踏まえながら検討してまいります。	引き続き合併後の地域コミュニティの現状を踏まえながら検討してまいります。	2	
			市民局		③ 合併するにあたって、旧吉田町は、他の町に比べて住民1人あたりの負債も少なかった。これを考慮し、吉田地域には特段の配慮をお願いしたい。	③ それぞれのまちの財政事情や歴史的経緯は十分理解するが、南九州の中核都市としてまた、60万都市として速やかな一体化と均衡あるまちづくりを進めるため、住民それぞれが旧市・旧5町と言った垣根を一刻も早く払拭することが大事なことはないかと考えている。今後は、ご意見の趣旨も真摯に受け止め、皆様の不安を期待に変えていく努力を惜しむことなく、新生鹿児島市の魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。	(検討結果、今後の方針等のおお)	5